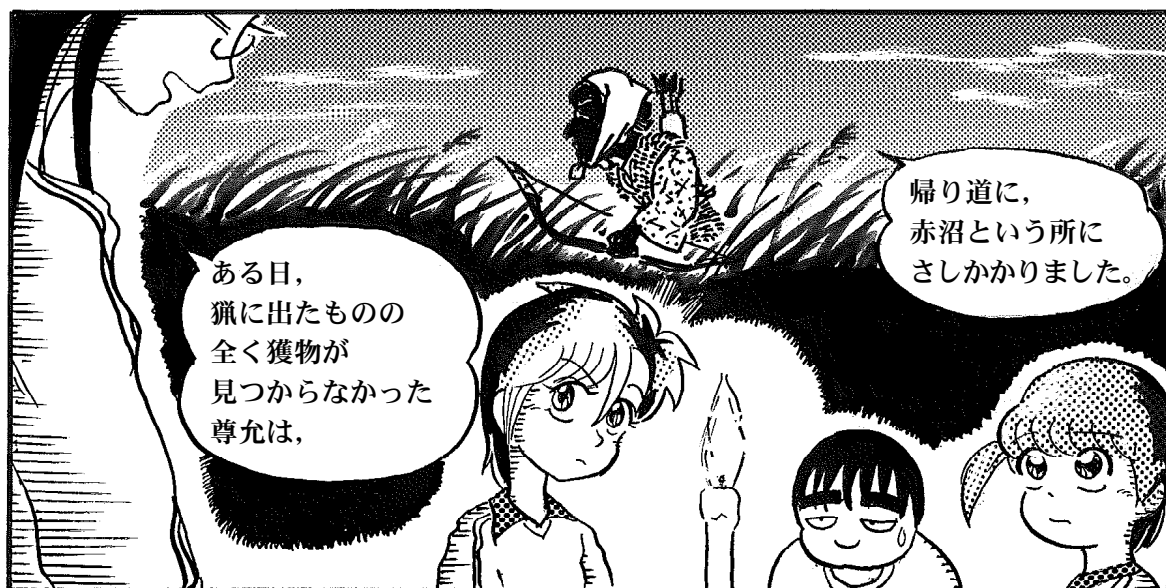
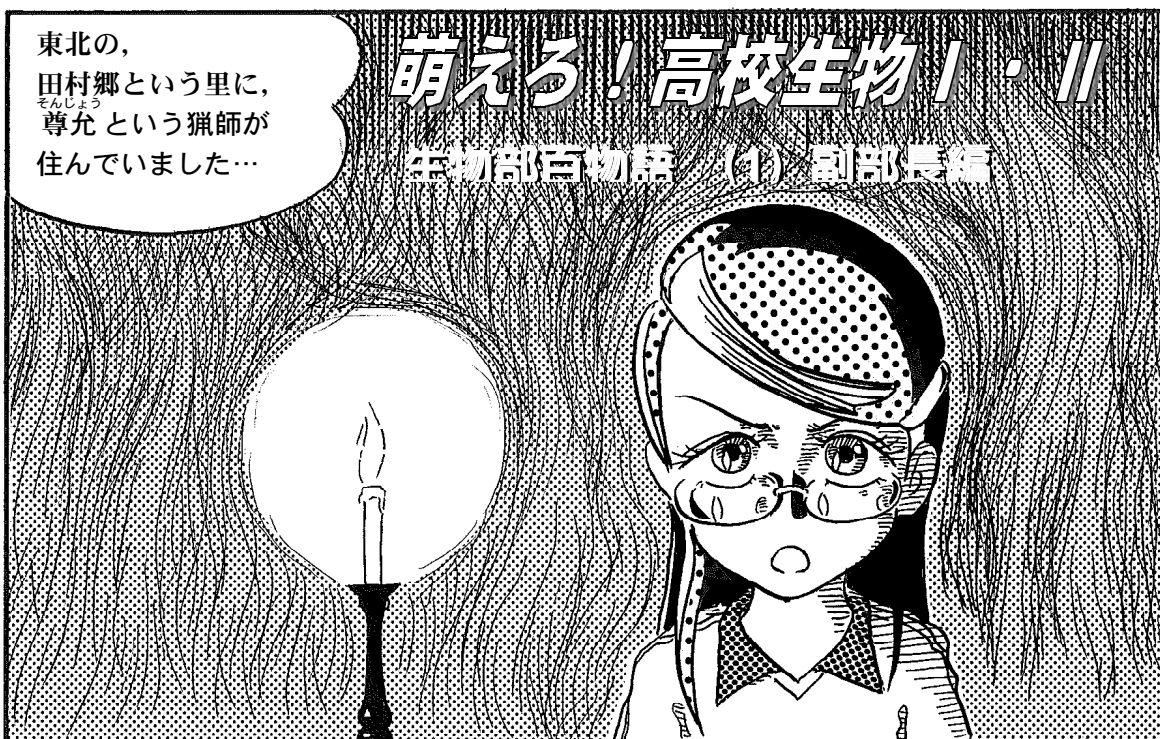
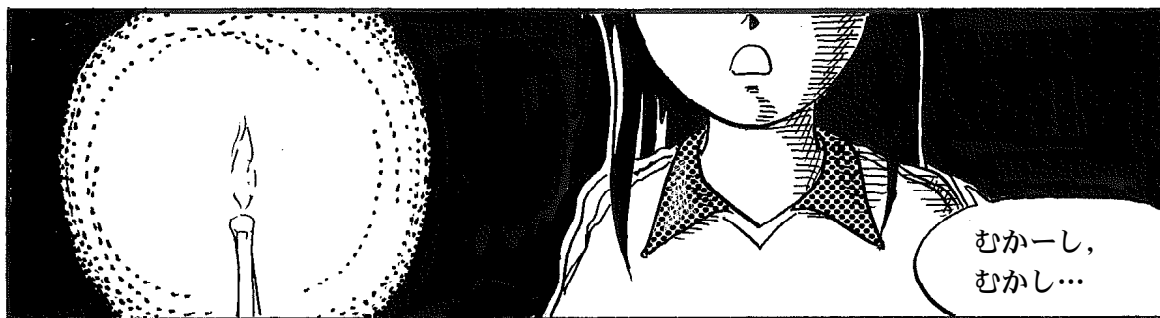
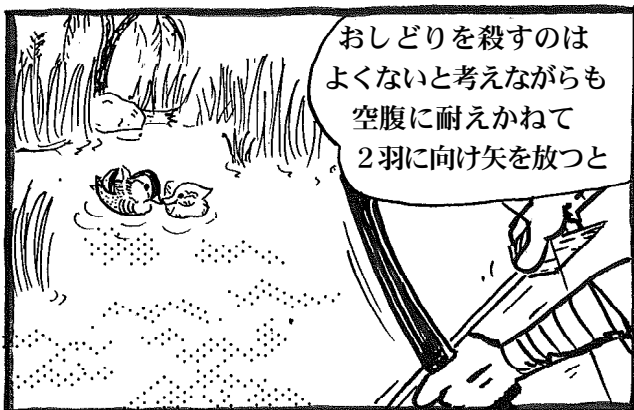
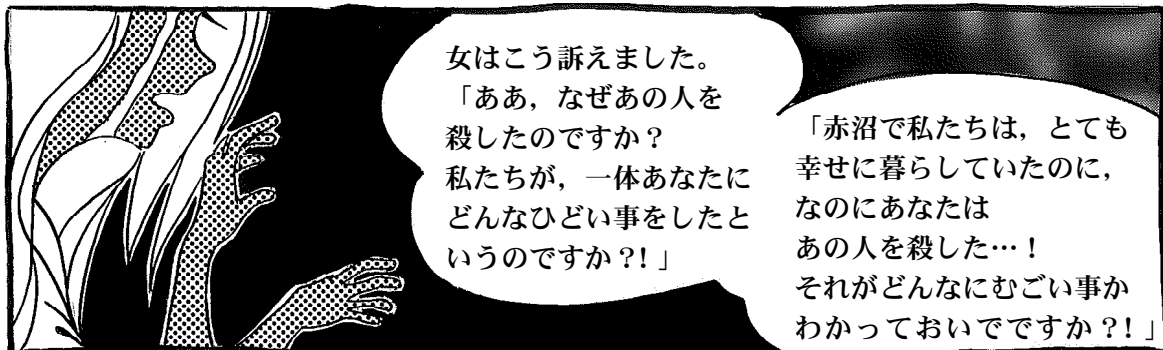








女はこう訴えました。

「ああ、なぜあの人を
殺したのですか？
私たちが、一体あなたに
どんなひどい事をしたと
いうのですか?!」

「赤沼で私たちは、とても
幸せに暮らしていたのに、
なのにあなたは
あの人を殺した…！
それがどんなにむごい事か
わかっておいでですか?!」



「あなたは、私まで
殺しました！
私はあの人なしで
生き長らえることは
できません。」



日暮るれば さそひしものを
赤沼の真菰かくれば
ひとり寝そ憂き

「夕暮れ時、いつも
あの方を誘って一緒に
帰ったのに、今は
赤沼のマコモの陰で
独り寝なんて…
このつらさ、
みじめさは…」



「あなたは、自分の
された事がどういう事か
おわかりにならないのです」

「そうです、
1つもわかって
おられないの
です！」

